

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

## 『誰か』のこと じゃない。



## 人権標語 皆さんのが感じたことの紹介

今回で7回目となる第四中人権標語コンクール、標語を読んだ3年生の感想を一部紹介していきます。

- ☆自分を中心に話したり行動していくのではなく、相手の気持ちを考えて行動することが当たり前のように出来る、そして、みんながそれを当たり前だと思えるような世界を作っていくみたい。
- ☆今まで気にならなかったこともこの3年間で人権について学ぶことで、すごく気になるようになった。たとえば、いらないところで男とか女とか分けてアンケートするとか。全員がやるアンケートだったら、男女を書く必要ないよなって思った。なんだか忘れてしまったけど、親の言葉や、テレビでやっていることまでもひっかかった。人権チェックとか、人権標語とか、授業とかで前よりもっと人権意識が高くなったと思う。楽しかったです。
- ☆これらの標語を見て気づかされることで、自分（人権意識があまり高くない自分）を変えたいという気持ちが強くなった。また、これらの標語を見て、自分の日常を振り返り、人権意識を高めようとする人が一人でも多くなってほしいと思った。
- ☆周囲から見たら違和感のない言葉でも、人によってささる言葉が違うと分かった。発言するたびに相手の反応をよく見ることが大切だと思う。また、言葉でのすれ違いが起こらないように1つ1つを確認してから言葉を発していきたい。
- ☆全部の標語を読んでみて、改めて自分の行動を見直したいと思った。自分が少しだと思っていても、相手がとても嫌と感じているかもしれないから、自分の行動で相手がどう感じるのかよく考えたいと思った。
- ☆その人だから言っても大丈夫だと思っている人が多いように感じる。誰も傷つかない言葉選びをするのが大切だと思った。
- ☆授業で習う内容よりも細かくたくさんの種類の人権が身近にあるんだと思った。また、「ネット上の  
人権侵害をなくそう」「子どもの人権を守ろう」のテーマは、自分たちに最もかかわる大切な問題なので、たくさんの人が関心を持っていることは良いことだと思うし、私も人権問題をなくすためにどのようなことを取り組めばよいか考える機会ができてよかったです。
- ☆今まで人権を意識して生活していたけれど、それだけではなく、自分の思いを行動に移すことが大切なのだと思った。自分の行動で、この先たくさんその後悔が待っているかもしれないけれど、自分がすべきことをしていけたらいいなと思った。
- ☆自分に関係なさそうな事も、実は身近な事だとわかったので、より人権を意識して生活したい。
- ☆みんな同じテーマでも、様々な視点から考えていた。自分もいろんな立場の人の視点になって、人の助けになりたいと思った。
- ☆人権の問題の大変さに順位はないと思うけど、ネット上の人権侵害を書く人が多いのを見て、ネットは相手と直接会わないので、ネットが原因で亡くなってしまうこともあるのは、おかしいし、つらい感じた。どの課題も古い考え方から来ているものが多いから、どんな人でも現代の考え方を持って行動・発言をしてほしいのと、自分自身でも気を付けていきたいです。いつまでも誰かが生きづらい世界は、私はイヤです。
- ☆「周りから」ではなく、「自分から」を意識してこれから的人生を過ごしていきたい。

☆「人権」という言葉2文字だけでも世の中には数えきれないほどの問題があることが改めて分かった。中でも、刑を終えて出所した人への偏見という問題が印象に残った。理由は以前、自分が観た映画に、刑を終えた人の出所してからの生活についてのものがあり、しっかり自分の犯した罪を償ったはずなのに仕事場で周りの人たちから「だから刑務所から出た人は」のような心無い言葉を浴びせられていて、再犯をしてしまうという内容で、もちろん、再犯をしてしまった本人も悪いけれど、更生しようとしている人を侮辱するような人のせいだとも思った。私自身、前までは、怖いな、などという偏見があったけど、周りの環境が刑を終えた人の再犯を防ぐことにつながると思った。

☆まだまだたくさんの人権課題がある中で、その中で自分も気づいたらやってしまっていることや言ってしまっていることがあるかもしれない、もっと意識できるように頑張ります。「人々が笑って過ごせる世の中に」というのは、すべての人権課題の目標であると思いました。

☆常に理解する気持ちを持ち、自分も相手も過ごしやすい生活を考える。理解できなくても深く考えずそうだと受け入れる。日本以外の場所でも、どこにいても過ごしやすい環境が良いです。

☆今回いろいろな作品を見て、こんな風に感じている人がいるんだとか、少しやってしまっていたかも?って思ったから、これから先少しでも人権を侵害するようなことがあったら反省するし、そもそもなくしていきたい。また周りの人にも注意できるようになりたい。

☆普段、授業で人権について学んでいても、「自分から考える」という行動にはなかなか行きつかない。だからこそ、標語を自分で作ったり、他人の作品を見たりすることで、人権意識が高まって、自分で行動を起こそうと思うきっかけになりました。また、誰かが書いた標語が誰かを救うことになるとすると、やはり考えるということがどれだけ大切なのかを思い知りました。

☆同じ人間でも考え方や感じ方は違うし、自分の思っていることを言えない人もいるということに気付けるようにしていきたい。もしかしたら、相手が思っていることを自分が言えなくしているかもしれないということにも気付けるようにしたい。

☆何気ない言葉が相手を傷つけてしまったりすることもあるが、逆に笑顔にしたりすることもできるのだと、改めて気づいた。今意識しないで言ってしまっている人権侵害の言葉を、少しでもいいから誰かを笑顔にできる言葉に変えたら。もう少し生きやすい世の中になっていくんじゃないかと思う。

☆小さい子は、身近な大人の行動、言動を真似して物事を覚えていくから、私たちも未来の世代のために、日ごろの行いを見返し、改めなければならないと思った。

☆NO38をみて、伏字が使われている時点でその言葉から悪い印象を受け取るということにとても共感した。似たような例で、言葉に出さなければ人を傷つけないというわけではなく、行動によって傷つけることがあるとわかった。これからは、口だけではなく、行動から人権意識を持っていきたい。

☆人権は、目の前にいる相手のことを考えるだけではなく、相手の心の中や目に見えないところまで思いやる気持ちがあってこそ守られているものなのかなと思った。人権意識を持った人が多くなり、より良い世界になるために、まずはクラスから、学校から自分ができることをしていきたいと思った。

☆人権問題は、自分にあまり関係ないとと思う人が多いが、そんなことはなく、自分たちのすぐそばに潜む問題、少し意識するだけで改善に近づく問題があると、標語をみることで再確認できた。また、一人一人が意識することや、自分の事と捉えるのが重要だと思った。

☆標語をみて、自分はまだ人権意識が低いなと感じた。自分の発する言葉で相手が傷つかないように気を付けているつもりでも、気づかぬうちに傷ついているかもしれない。そのことを理解した上で、言動したいと改めて思った。高校生になったら、たくさんの人にお会い、いろいろな人がいるなと実感することになると思う。その時に、その人はその人、だと認められる人になりたい。

☆自分も無意識に誰かを差別してしまっていたり、人権侵害をしてしまっていると思った。また、見方や考え方を変えるだけでも、人権に対する意識が変わると思ったから、1つの人権問題について、いろいろな視点で見ていきたいと思った。

他にも世の中の人権課題を他人事にせず、「誰かのことじゃない」「自分はこうしたい」等の意見が多くありました。